

At a Glance

当社は創業以来、人々の暮らしを支える様々な製品を提供し、社会の発展とともに成長してきました。今日では鉄道車両を始めとする様々な分野で業界をリードする製品を提供しており、社会基盤の充実と発展に幅広く貢献しています。

設立



1896

年(明治29年)

創業者 奥田正香が、日本の鉄道がますます発展するという考えのもと、「進取の精神」で愛知県名古屋市に設立しました。

従業員数(連結)



2,263

人

ものづくりは「人づくり」であると考え、人材育成や働きがいのある職場づくりを行っています。

新幹線製造両数



No.1

1964年開業の0系新幹線から、最新のN700S新幹線まで、数多くの新幹線製造に携わり、実績を積み重ね続けています。

民生用バルクローリ製造台数



No.1

蒸気機関車のボイラーを作る技術等を応用し、高圧ガスを運搬するためのタンクローリを製造しています。

連結売上高



880億5,800

万円

4つのセグメントが相互に補完し合うことで、経営基盤を安定させるための事業ポートフォリオを構築し、受注産業ながら安定した売上高を確保しています。

連結売上高経常利益率



7.2%

経営指標である「連結売上高経常利益率5%の安定的確保」に向けて全社一丸となって収益力の強化に取り組んでいます。

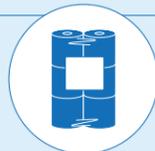
三点式大型杭打機製造台数



No.1

お客様の様々なニーズにきめ細やかに対応することで、業界を代表するリーディングカンパニーに成長してきました。

種子センター、トイレットロール包装機製造数



No.1

トータルエンジニアリングの強みを活かし、お客様のニーズに応える製品を提供しています。



INDEX

- 2 日本車両の原点、現在、未来
- 4 At a Glance
- 5 目次
- 6 日本車両 価値創造のあゆみ
- 8 日本車両 価値創造プロセス
- 10 TOP MESSAGE
- 14 財務ハイライト(連結)

- 16 セグメントの概況、サステナビリティ
- 17 日本車両の4つの事業
- 18 鉄道車両事業
- 20 建設機械事業
- 22 輸送用機器・鉄構事業
- 24 エンジニアリング事業
- 26 技術開発
- 28 環境に関する取組み
- 30 環境に配慮した製品・サービスの開発・提供
- 32 TCFD提言への取組み
- 34 社会に関する取組み
- 36 コーポレート・ガバナンス

- 40 財務情報

- 42 企業情報

編集方針

当社では、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上に資するために、株主・投資家の皆様をはじめ、多くのステークホルダーとの対話の充実に努めています。本レポートは、当社の財務情報に加え、事業戦略やESG情報等の非財務情報について総合的に理解を深めていただくことを目的としています。編集にあたっては、国際統合報告評議会(IIRC)の「国際統合報告フレームワーク」および経済産業省の「価値協創ガイダンス」を参考にしています。

【見通し等に関する注意事項】

本誌に記載されている将来の計画や見込み通知等は、当社が現在入手可能な情報に基づく見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。潜在的なリスクや不確実性の例としては、経済動向や事業環境、消費動向、当社および子会社における他社との競合状況、法律や規制等の変更等が挙げられます。なお、本誌は原則として、2024年6月末までの情報に基づき作成されています。
※金額は単位未満を切り捨て、その他の数値は単位未満を四捨五入して表示しています。